

前田護郎 護郎 キリスト教聖書學者、哲學博士。大正四年六月十七日  
愛知縣生れ、昭和五十五年四月十七日歿（一九五—八〇）。昭和十二年東  
京帝國大學文學部言語學科卒。二十六年東大教授。雜誌「聖書學叢論」  
創刊主宰。無教會主義キリスト者。

著譯書 「抵抗の學究生活」（合著、昭和二十六年九月二十日栗書房）、  
クルマン著「キリストと時」（譯、昭和二十九年五月二十一日岩波書  
店「岩波現代叢書」）、「新約聖書概説」（昭和二十一年十一月二十  
日岩波書店「岩波全書」）、「若多の日の欧州記」（昭和二十二年十月  
十日學生社「學生社新書」）、「聖書とその周辺—塚本虎二先生信節  
五十年記念論文集」（関根止雄 斎藤茂共編、昭和二十四年二月一日伊藤節書  
房）、「コトコトと聖書」（昭和二十八年十一月二十一日岩波書店）、  
「現代の生々たる内村鑑二」（合著、教文館出版部編、昭和四十二年一  
月二十日教文館）等。